

鹿児島県の農業について ご紹介します！

農林水産省九州農政局鹿児島県拠点
令和7年2月版

はじめに

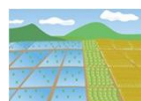
- 鹿児島県は九州の南端に位置し、東西約270km、南北約600kmに広がり、薩摩、大隅の二つの半島からなる県本土と、甕島(こしきしま)、種子島、屋久島、トカラ列島、奄美群島など200有余の島々から成っています。
- また、温暖な気候や広大な畑地などの特性を生かし、畜産や園芸作物を中心とした農業生産が盛んです。
- 農業産出額は、平成29年から全国2位に位置しており、全体の約7割を占める畜産のほか、農業産出額が全国1位の茶(生葉)をはじめ、かんしょ、そらまめ、ばれいしょなども全国上位の生産量を誇り、鹿児島県は農業の一大産地として全国に名を馳せています。

目 次

データで見る鹿児島県の農林水産業 …	4	棚田 ……………	1 8
みどりの食料システム戦略 ……………	9	奄美群島 ……………	1 9
有機農業の取組事例 ……………	1 1	ジビエ ……………	2 0
かごしま茶 ……………	1 2	輸出 ……………	2 1
さとうきび ……………	1 3	G I ……………	2 6
さつまいも ……………	1 4	6次産業化 ……………	2 7
畜産 ……………	1 6	スマート農業・農業DX ……………	2 8

データで見る鹿児島県の農林水産業

○ 農業



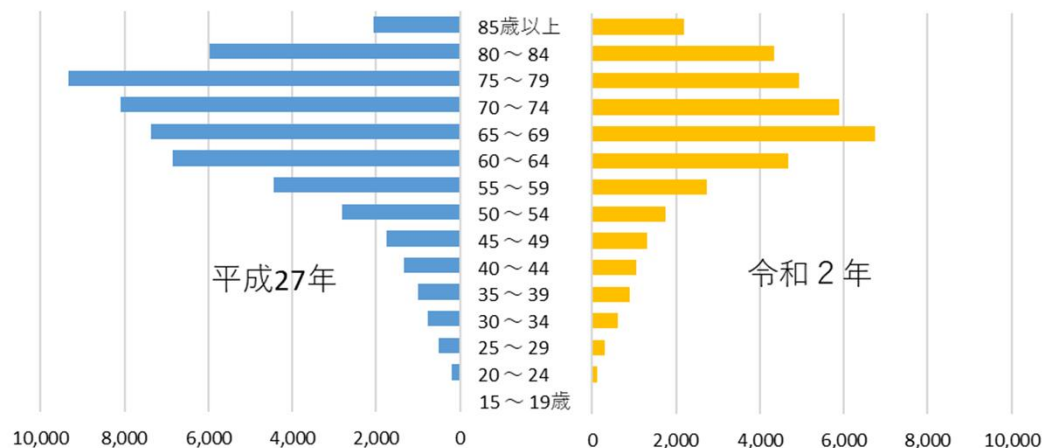
区 分	鹿児島県		全国順位
耕地面積	110,400	ha	12
田	33,500	ha	28
畑	76,900	ha	2
普通畑	61,800	ha	2
樹園地	12,100	ha	7
牧草地	2,920	ha	10
農業経営体数	29,717	経営体	12
法人経営	1,338	経営体	2
総農家数	48,360	戸	12
販売農家	28,199	戸	12

資料：「令和6年耕地面積（7月15日現在）」

「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

○ 基幹的農業従事者数

単位：人



資料：「農林業センサス」

○ 林業



区 分	鹿児島県		全国順位
林野面積	588,683	ha	12
国有林	150,486	ha	12
民有林	438,197	ha	13
林業経営体数	367	経営体	32
法人経営	105	経営体	13
林業産出額	113.9	億円	14
木材生産	100.3	億円	9
栽培きのこ類生産	11.8	億円	30

資料：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

「令和4年林業産出額」

○ 水産業

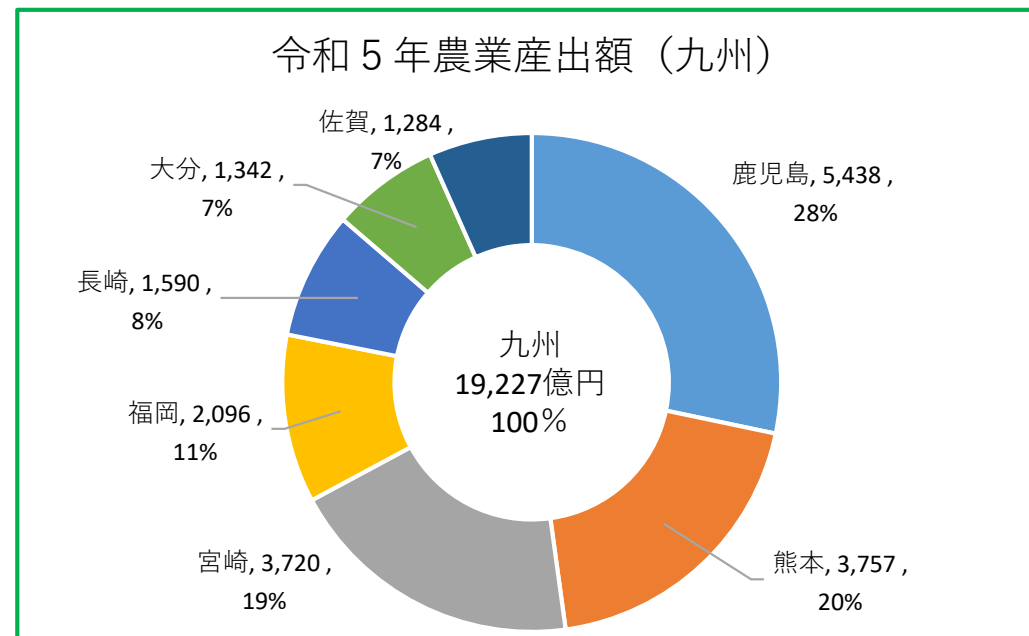
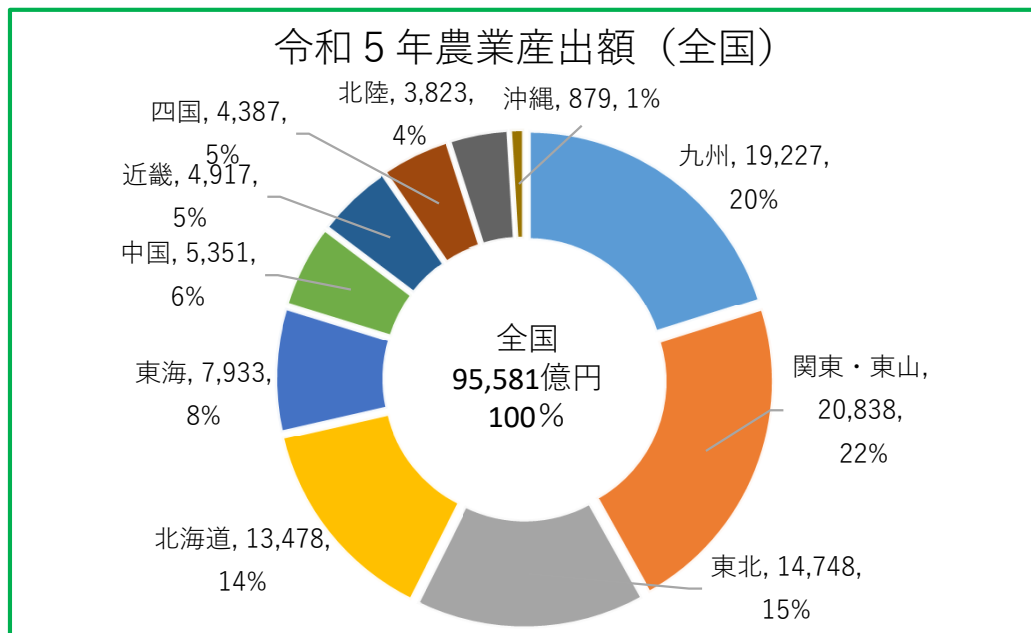


区 分	鹿児島県		全国順位
海面漁業漁船隻数	3,923	隻	10
動力漁船	2,756	隻	5
海面漁業経営体数	2,554	経営体	7
海面漁業就業者数	4,807	人	6
男	4,428	人	5
女	379	人	12
海面漁業・養殖業産出額	770.0	億円	5

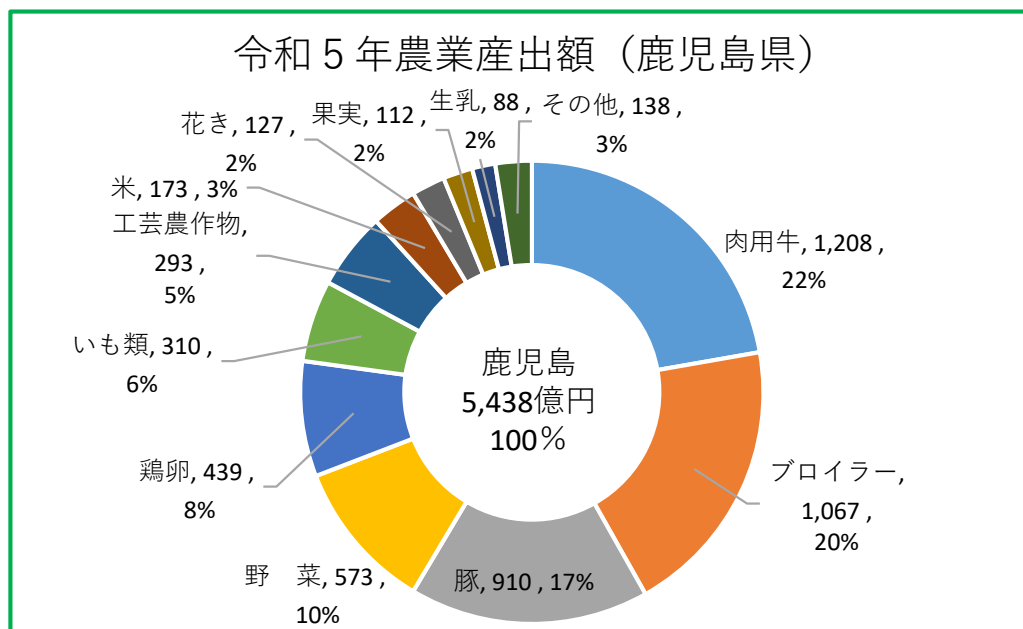
資料：「2023年漁業センサス（令和5年11月1日現在）」

「令和4年漁業産出額」

○ 農業産出額（全国、九州、鹿児島県）（令和5年）



注：関東・東山とは、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海とは、岐阜、静岡、愛知、三重



資料：「令和5年生産農業所得統計」

○ 鹿児島県の農業産出額と全国上位の農産物（令和5年）

農業産出額 全国 2 位
5,114億円（1位 北海道）



肉用牛 全国 2 位
1,208億円（1 位 北海道）



豚 全国 **1 位**
910億円（2位 北海道）



茶（生葉）全国 **1 位**
140億円（2位 静岡県）



ブロイラー 全国 1 位
1,067億円（2位 宮崎県）



鶏卵 全国 3 位
316億円（1位 千葉県）



ばれいしょ 全国 3 位
115億円（1位 北海道）



さとうきび 全国 2 位
137億円（1位 沖縄県）



茶（荒茶）全国 2 位
74億円（1位 静岡県）



かんしょ 全国 2 位
195億円（1位 茨城県）



資料：「令和5年生産農業所得統計」

○ かごしまブランド

鹿児島県では、生産量がトップクラス、市場等から品質の評価が高いなど、本県を代表する農畜産物を「かごしまブランド」産品として指定しPRしています。（令和6年3月末現在）

資料：鹿児島県



あお …… 南国の広い青空
みどり …… 大自然のもたらす恵み
オレンジ …… 人の情熱
あか …… 鹿児島の象徴としての太陽

ばれいしょ そらまめ 実えんどう

紅甘夏 きんかん マンゴー 大将季

かごしま茶 鹿児島黒牛 かごしま黒豚 かごしま地鶏

いちご こまつな マンゴー 桜島小みかん

大将季 かごしま茶 鹿児島黒牛 かごしま黒豚 かごしま地鶏

かぼちゃ そらまめ 実えんどう さつまいも

オクラ らっきょう たんかん きんかん マンゴー

かごしま茶 鹿児島黒牛 かごしま黒豚 かごしま地鶏 米



ごぼう かごしま茶 米

鹿児島黒牛 かごしま黒豚 かごしま地鶏

ピーマン きゅうり ばれいしょ

ごぼう スプレーギク マンゴー パッションフルーツ

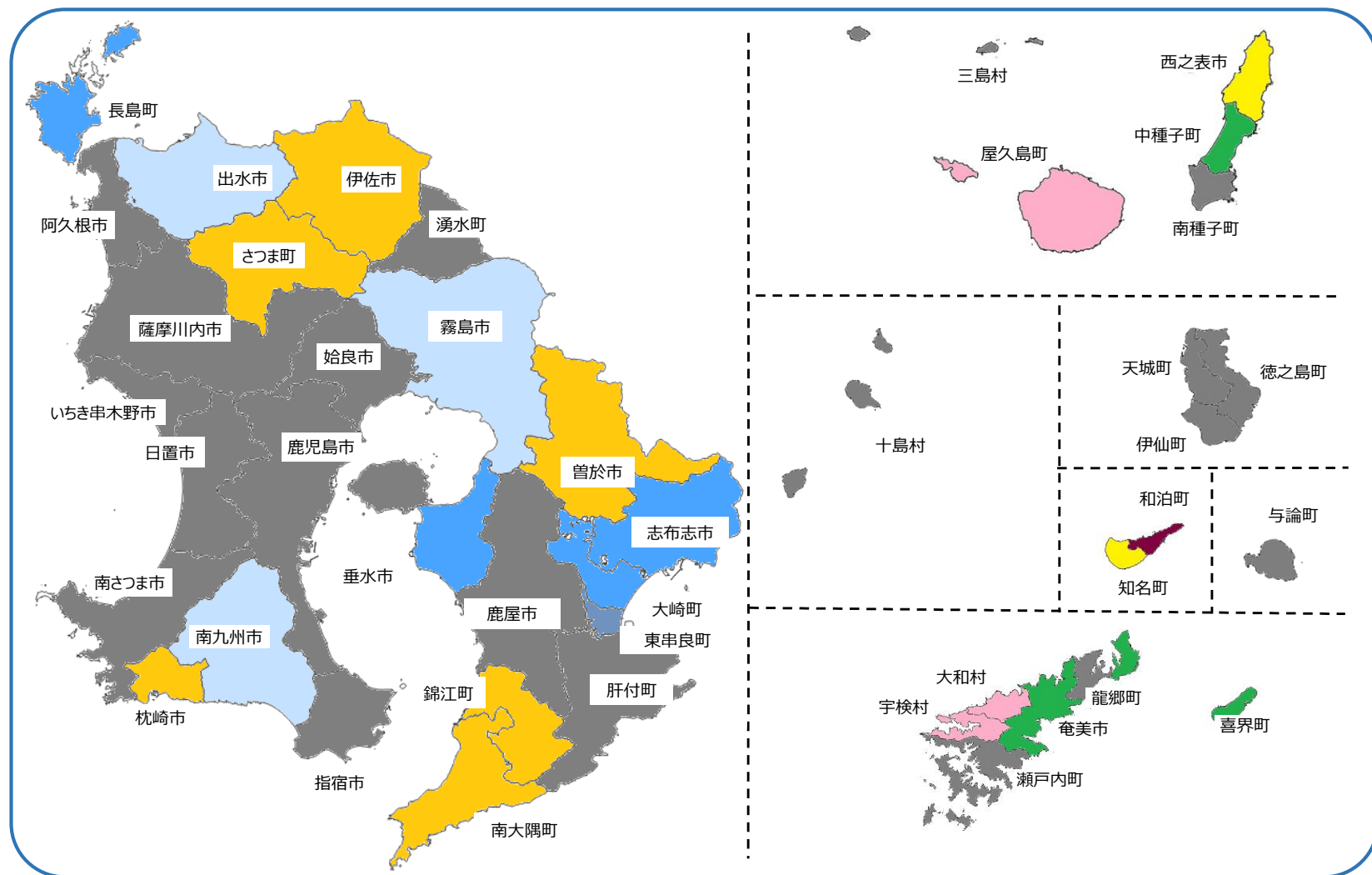
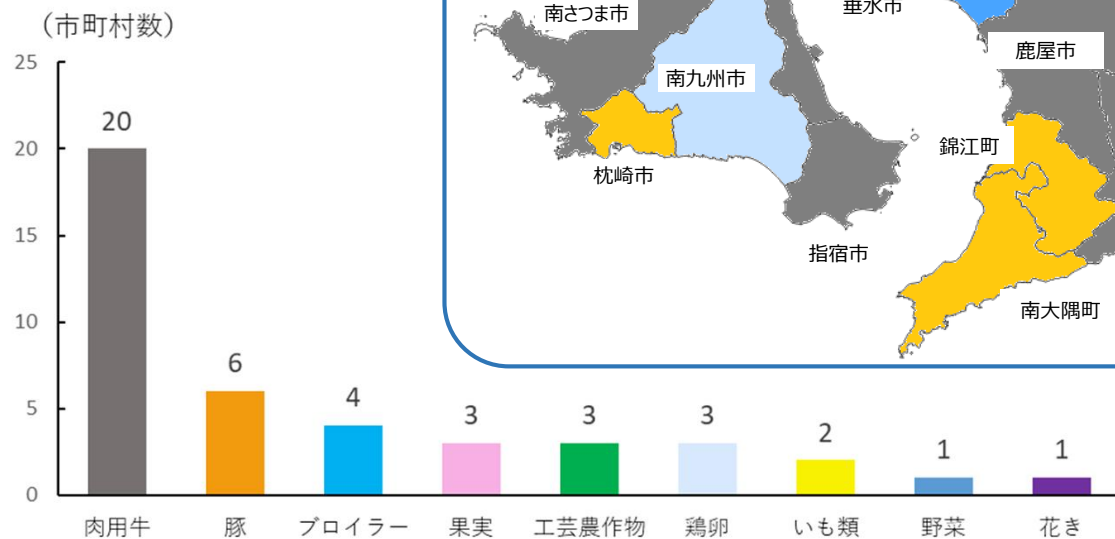
かごしま茶 鹿児島黒牛 かごしま黒豚 かごしま地鶏

レザーリーフファン マンゴー

たんかん ブロッコリー かごしま茶 鹿児島黒牛

ばれいしょ ユリ パッションフルーツ 鹿児島黒牛

○ 鹿児島県内各市町村の農業産出額 1 位部門の分布状況



資料：「令和 4 年市町村別農業産出額（推計）」

みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

- 我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害や地球温暖化、生産者の減少や地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化への対応などの厳しい課題に直面しており、農林水産業や地域の将来を見据えた持続可能な食料システム構築が急務となります。
- このため、農林水産省は中長期的な観点から、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定し、令和4年6月に中間目標を決定しました。
- 令和4年4月22日に「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（みどりの食料システム法）」が成立し、同年5月2日に公布、7月1日に施行されました。

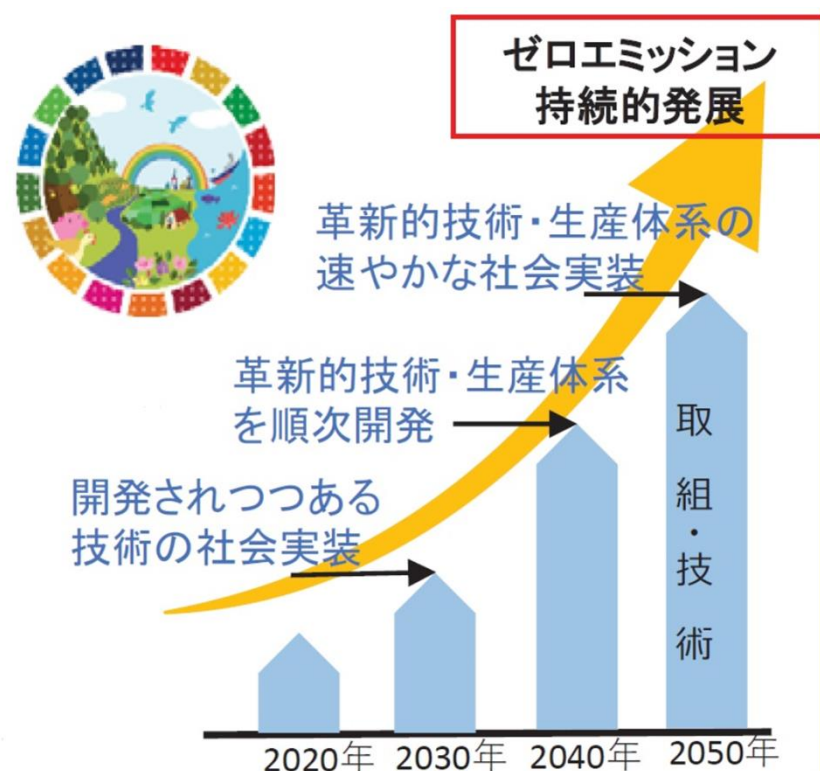
2050年までに目指す姿（2030年までの中間目標）

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現（10.6%削減）
- 化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減（10%低減）
- 化学肥料の使用量を30%低減（20%低減）
- 有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大（6.3万ha）
- 2030年までに持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現（100%）
- エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大（3割以上に拡大）
- ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%を実現（13%）等

目標の実現に向けて～政策手法のグリーン化～

- 2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現、生物多様性目標への貢献
- 国際的な議論（国連食料システムサミットやCOP26等）に貢献することにより、持続性の取組モデルを発信
- 地域の所得向上や豊かな食生活、コロナへの対応により、持続的な地域の産業基盤を構築

※ みどりの食料システム法により認定を受けると、資金調達（日本政策金融公庫による無利子・低利融資）や設備投資の初期負担軽減（税制の特例）があります。



資料：農林水産省

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

鹿児島県拠点では、消費者、消費者団体、農業者、農業団体、自治体、流通・販売業者等と連携し「みどりの食料システム戦略」を推進

令和6年度の主な取組の概要

- R6年7月 霧島市で「環境にやさしい農業体験・食育セミナー」を開催。
南さつま市で「環境にやさしい農業を普及するための現地研修会」を開催。
- R6年8月 鹿児島市で「食と音楽ランチコンサート」を開催。
- R6年10月 鹿児島市で「環境にやさしい食材を使った料理実習」を開催。
- R6年12月 始良市で「有機農業を推進するための現地研修会」を開催。
- R7年1月 鹿児島県内のスーパー等で「環境にやさしい農産物の消費拡大に向けた一斉販売」を開催。
鹿児島市で「環境にやさしい食材を使用した料理教室」を開催。
- R7年2月 「九州・山口有機農業の祭典」に参加し、「鹿児島県内のオーガニック等観光ルート」を紹介。



R6.7 現地研修会



食と音楽ランチコンサート



R7環境にやさしい農産物のPR販売

みどりの食料システム戦略推進の取組は、Facebook、Instagram、X、鹿児島県拠点HPで紹介。



Facebook



X



Instagram



鹿児島県拠点HP

みどりの食料システム戦略を踏まえた
資材価格高騰への対応
「JA鹿児島県経済連による地域資源を活用した肥料
の開発と供給」

取組の概要

JA鹿児島県経済連では、化学肥料の原料価格高騰に対応するため、畜産堆肥を活用した低コスト肥料（堆肥と化学肥料を混合したペレット肥料）を開発し、令和4年7月1日から供給を開始しました。

開発した低コスト肥料は、茶用の「ミドリッチ茶1号、ミドリッチ茶2号」、園芸用の「アグリッチ888」等で、20キロ袋で令和4年秋肥の化学肥料と比べ価格を約15%～約30%低減しました。粒状化したことで散布が容易となり、作業負担も軽減しました。

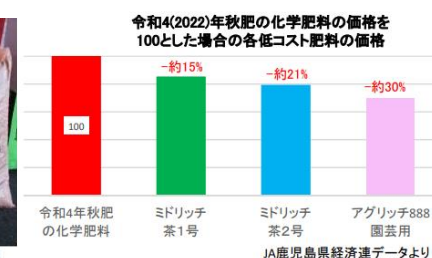
現在では、野菜、果樹、水稻、さとうきび、かんしょ用も供給しています。



混合ペレット肥料



ミドリッチ茶1号、ミドリッチ茶2号、アグリッチ888



また、JA鹿児島県経済連とJA全農みやぎは、令和5年2月、堆肥ペレットと稲わらの広域流通の実証試験を開始しました。鹿児島からはペレット状にした堆肥を宮城へ、宮城からは家畜の餌となる稲わらを鹿児島へそれぞれ広域流通します。これら取組を通じ、広域的な循環型農業の実現を目指しています。



稲わら



堆肥ペレット



鹿児島県内の有機農業の取組事例



有機農産物には
必ずこのマークが
付いています！



①霧島製茶株式会社（霧島市）

栽培面積 6 ha、全て有機JAS認証を取得、生産から製造・加工・販売までの一貫経営の確立



②有限会社かごしま有機生産組合（鹿児島市）

栽培面積275ha（有機野菜、果樹、茶など120品目）
構成戸数162戸（有機JAS取得102戸）職員45名、パート30名



③農業生産法人そのやま農園（株）（鹿児島市）

栽培面積 7 ha（にんじん、ごぼう、えだまめ、ばれいしょ等）
有機農産物にこだわった農園直営レストラン等を展開



④吉田 裕介（出水市）

栽培面積約 2 ha（ばれいしょ、さといも、かんしょ、たまねぎ）、
うち60aで有機JAS認証取得



⑤ジャラン農園（日置市）

栽培面積約 2 ha（にんじん、だいこん、かんしょ、さといも）
2017年に有機JAS認証取得



⑥モッチョム農園（屋久島町）

有機JAS認証圃場面積12ha（ばれいしょ、かんしょ、ウコン）
ウコンは粉末状に加工し販売（有機加工JAS取得）



⑦大久保農園（いちき串木野市）

有機JAS認証圃場面積約 2 ha（かんきつ類）
収穫体験実施



⑧（有）屋久島八万寿茶園（屋久島町）

経営面積6.5ha（全て有機JAS認証取得、栽培品目は茶）
2017年には、ASIAGAP（茶部門）認証取得

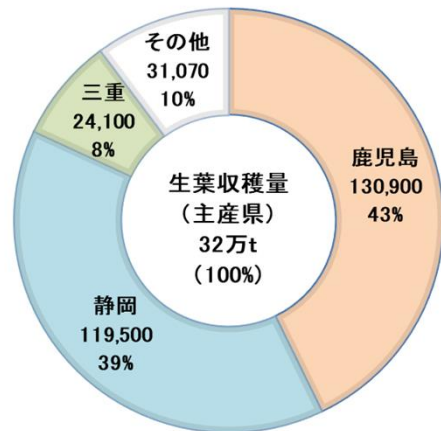
九州農政局管内の有機農業取組事例集はコチラから⇒



かごしま茶

- お茶は、鹿児島県全域で栽培され、生葉収穫量は32万tで**全国1位**です。「やぶきた」をはじめ多様な品種を栽培し、幅広い消費者ニーズに対応した生産が行われており、経営の大規模化・法人化が進展しています。
- **全国トップクラスの有機栽培茶面積**であり、**欧米を中心に輸出が拡大**（令和元259トン→令和5年1,731トン）しています。

令和6年産茶（生葉）収穫量



資料：令和6年産作物統計調査

鹿児島県内の主な産地

【北薩】
さつま茶、宮之城茶

【鹿児島】
まつもと茶、ひおき茶

【南薩】
知覧茶、枕崎茶

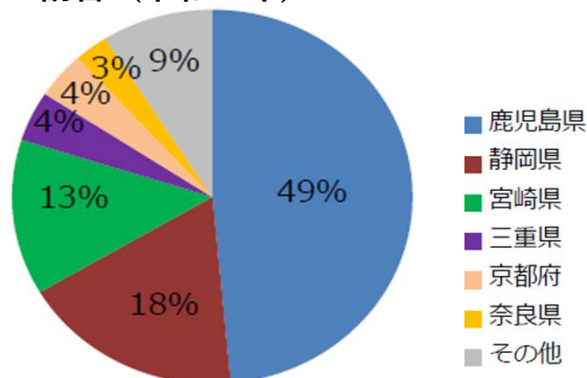
【始良・伊佐】
霧島茶

【大隅】
財部茶・曾於茶
末吉茶
志布志茶・有明茶
かのや茶、大根占茶
田代茶

【熊毛】
種子島茶



有機JASほ場面積（茶畑）の割合（令和5年）



資料：茶をめぐる情勢（令和7年1月）



資料：（公社）鹿児島県茶業会議所

さとうきび

○ さとうきびは、本県の南西諸島の基幹作物として生産が行なわれ、令和4年産の栽培面積は10,900haで、種子島・奄美群島の耕地面積（27,900ha）に占める割合は39%です。

区分	栽培面積 (ha)	収穫面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量 (t)	機械刈面積 割合(%)
鹿児島	10,900	9,570	5,580	534,100	96.6

資料：令和4年産作物統計調査

資料：令和4年産さとうきび及び甘しや糖生産実績（鹿児島県）

島別の記載内容

島名 (1) 収穫面積 (2) 収穫量
(3) 製糖会社大型工場名
(4) 小型工場数



さとうきびほ場



ハーベスターによる収穫

奄美大島
(1) 565ha (2) 28,389t
(3) 富国製糖(株) ②奄美事業所
(4) 13工場

種子島
(1) 2,337ha (2) 154,941t
(3) 新光糖業(株) ①中種子工場
(4) 7工場

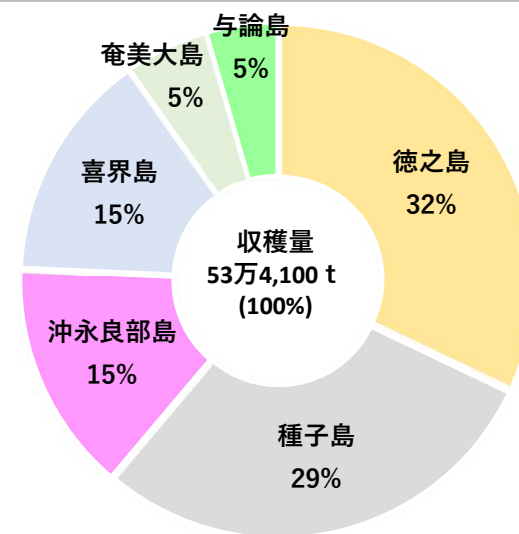
喜界島
(1) 1,337ha (2) 77,144t
(3) 生和糖業(株) ③喜界工場
(4) 15工場

徳之島
(1) 3,206ha (2) 170,964t
(3) 南西糖業(株) ④徳和瀬工場
⑤伊仙工場
(4) 9工場

沖永良部島
(1) 1,718ha (2) 77,904t
(3) 南栄糖業(株) ⑥和泊工場
(4) 1工場

与論島
(1) 403ha (2) 23,769t
(3) 与論島製糖(株) ⑦与論事業所
(4) 無

令和4年産 島別収穫量割合



資料：令和4年産さとうきび及び甘しや糖生産実績（鹿児島県）

さつまいも

- さつまいもは、本県の主要な作物として生産され、生食・加工食品用、アルコール用（焼酎用）、でん粉用等に幅広く利用されています。当県では、生食・加工食品用よりも、焼酎用、でん粉用の割合が多いです。
- でん粉用、焼酎用としては、「基腐病」への耐性のある「こないしん」「みちしずく」など、品種改良も進んでいます。

生食・加工食品用



アルコール（焼酎）用



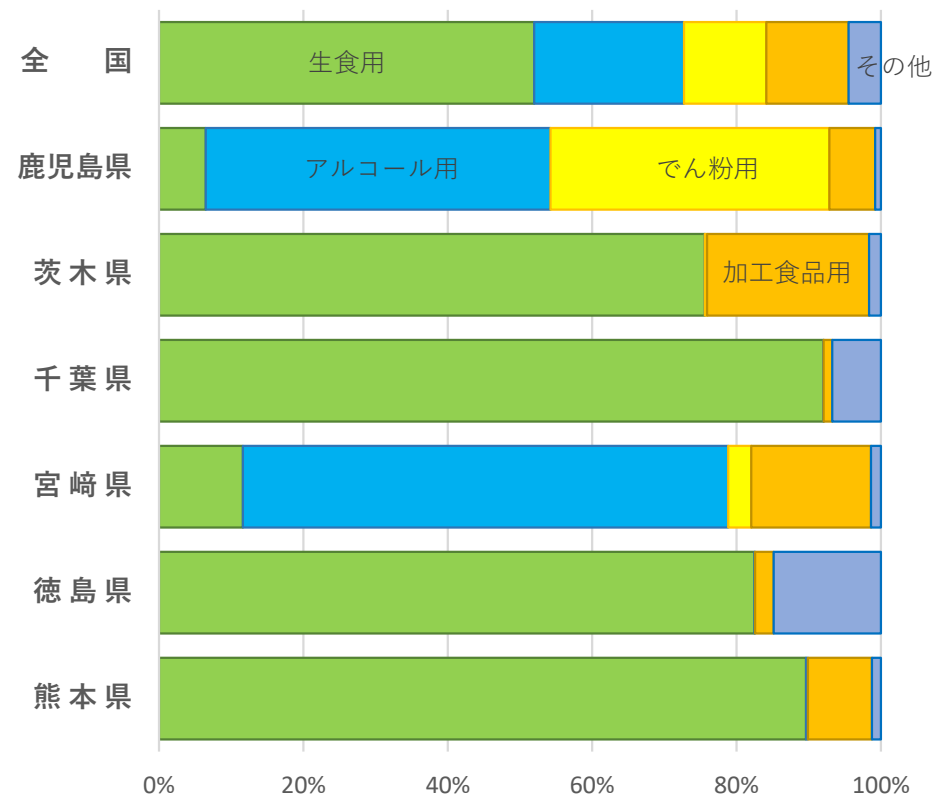
でん粉用



資料：aff（2017年11月号）農林水産省

かんしょの用途別仕向け状況

（令和3年産：全国及び主産県）



資料：農林水産省農産局地域作物課「いも・でん粉に関する資料」

注1：主産県は、全国作付面積のおおむね8割を占めるまでの都道府県。

注2：その他は、種子用、輸出用、飼料用等である。

○ サツマイモ基腐病防除対策

もどくされびょう サツマイモ基腐病のまん延を防ぐために

基腐病とは

・病原菌 糸状菌(カビの一種)

・寄主植物 主にさつまいも(ヒルガオ科のみ)

・症状 地際の茎が黒変し、茎葉は黄色や紫色に変色して、次第にしおれる。茎葉が繁茂する時期には、ツルが黒色から黒褐色に変色し、地上部が枯死する。発病株の芋は、主になり首側から腐敗する。



初期発病株
農研機構生研支援センターイノベーション
創出強化研究推進事業(01020C)令和2年度版
マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」引用

まん延を防ぐ3つのポイント

①基腐病菌を持ち込まない

- ・健全な種いも、苗の確保
- ・種いも、苗の適切な消毒
- ・ほ場で使った用具等の洗浄

地域ぐるみで、取り組もう

輪作も考えよう

②基腐病菌を増やさない

- ・ほ場の排水対策
- ・発病株の早期発見
- ・発病株の抜き取り、持ち出し
- ・初期防除の徹底

③基腐病菌を残さない

- ・残さの持ち出し
- ・耕うんによる残さの分解促進
- ・適切な土壌消毒
- ・たい肥等の有機物施用

3つのポイントを合わせて行うことが大切です。

疑わしい株を見つけたら、最寄りの病害虫防除所・JA等に相談ください。
(裏面には植え付けから栽培・収穫までの対策を記載しています。)

農林水産省
九州農政局



サツマイモ基腐病のまん延・被害を抑えるために

次作に向けて重要な対策

基腐病のまん延や次作の被害を抑えるためには、収穫後から植え付け前までに以下の対策をもれなく行うことが重要です。

収穫後から植え付け前 編

○ 基腐病菌を残さない対策

- ①ほ場の残さは、ほ場外に持ち出して適切に処分
- ②ほ場にわずかに残った残さは、気温が高いうちに耕うんにより分解を促進
- ③適正な地温(15℃以上)と水分が確保できる時期に、残さ除去後、被覆して土壌消毒を実施
- ④完熟たい肥などの有機物は、土壌消毒後、微生物を回復させるために適量を施用

○ 基腐病菌を増やさない対策

- ①ほ場の排水対策を促進するため、以下を実施
 - ・ほ場の排水機能、ほ場外排水路の点検
 - ・明きよの設置、サブソイラー等による排水改善
 - ・ほ場の均平化
- ②有機物施用による透水性改善

○ 基腐病菌を持ち込まない対策

- ①種いもや苗からのまん延を防ぐため、以下を実施
 - ・種いもは、基腐病発生ほ場からは採取しない
 - ・種いもや苗を購入する場合は、基腐病の発生がないほ場で生産されたことを確認のうえ、植え付け前に必ず消毒
 - ・自家採取苗を育成する場合は、基腐病の発生がないほ場で採取した種いもを用い、種いもを選別のうえ消毒し、土壌消毒した苗床に伏せ込む
 - ・育苗期に発病を確認したら、直ちに種いもごと抜き取り、ほ場外に持ち出して処分
 - ・採苗は、地際部から5cm以上切り上げて行い、採苗当日に苗消毒
- ②基腐病発生ほ場で使った機材・長靴などは全て洗浄

農薬は、使用基準に従って適切に使用してください

詳しい技術の内容が書かれているマニュアル

農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)
令和3年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/151859.html



○鹿児島県の畜産物は三つの黒



鹿児島黒牛

鹿児島県の黒毛和種の生産量は、全国一を誇り、「鹿児島黒牛」のブランド名で販売されています。

おいしさや安心・安全にこだわり、丁寧に育てられた鹿児島黒牛は、きめ細やかなやわらかい肉質とバランスのよい霜降りが自慢です。

また、「鹿児島黒牛」は地域団体商標登録済みです。

温暖な南国の緑と太陽に育まれた鹿児島黒牛は、安全な飼料を使って一頭一頭丹精こめて育てられ、肉質のきめの細かさと美味しさで、県内外で好評です。

かごしま黒豚

約400年前に琉球から移入されたといわれ、長い歴史のなかで改良を重ね誕生した「かごしま黒豚」。鹿児島県の豊かな自然の中で、さつまいもを含んだ飼料で育てられた「やわらかく、歯切れがよく、うまみがある」肉質で県内外で高い評価を得ています。



黒さつま鶏

「かごしま黒牛」、「鹿児島黒豚」は日本全国に知られる名ブランド。そんな鹿児島県の「黒」を背負う、第3のブランドとして県畜産試験場が「黒」にこだわり、6年もの年月をかけて生み出したのが「黒さつま鶏」です。



(参考) 第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催！

(令和4年10月6日～10月10日)

○「全国和牛能力共進会」とは

和牛日本一を決めるため、5年に一度、各都道府県持ち回りで開催される和牛の品評会で、全国のブランド牛を一堂に集めてその優秀性を競うイベントです。審査は雄牛、雌牛の体型を審査する「種牛の部」と肉質を審査する「肉牛の部」があり、第12回大会は鹿児島県で開催されました。

令和4年10月6日から10日にかけて、全国の和牛王座を決定する「第12回全国和牛能力共進会」が地元、鹿児島県で開催され、鹿児島県勢は**9部門中6部門で1席**となり、なかでも「種牛の部」で鹿児島県代表の雌牛3頭が最高賞の**内閣総理大臣賞を受賞**しました。



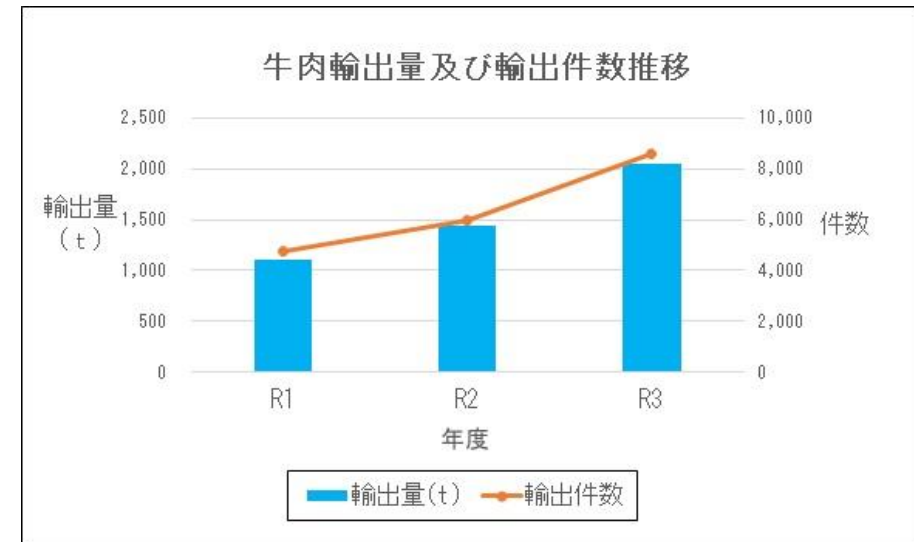
第12回全国和牛能力共進会（鹿児島）マスコットキャラクター
「かごしママ」



※ 牛肉輸出拡大中

鹿児島黒牛は、最近では**経済発展著しいアジアの各国でも人気が高まっております**、輸出量はアジアや米国、EU向けが年々増加しています。

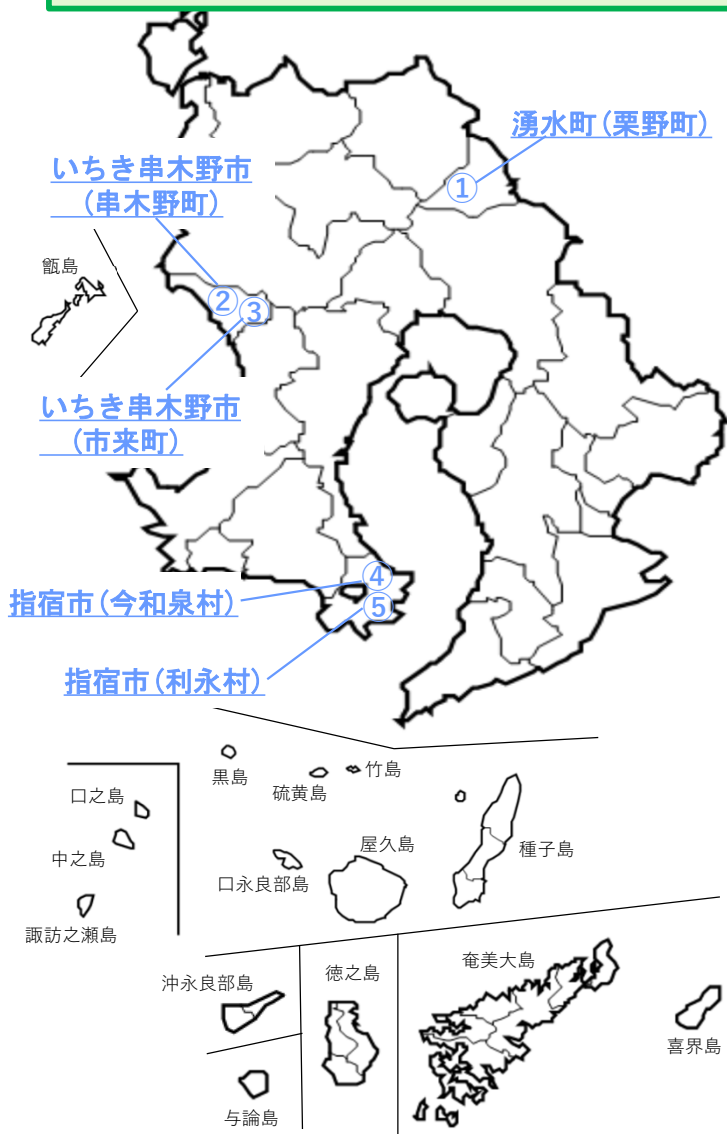
(※輸出の際は、「KAGOSHIMA WAGYU」として、販売。)



参照：鹿児島県ホームページ 輸出実績

指定棚田地域（鹿児島県内では五つの棚田地域が指定）

- 棚田地域は、農産物の供給にとどまらず、国土の保全、水源の涵養、生物の多様性の確保その他の自然環境の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等の**多面にわたる機能**を有しています。
- しかしながら、棚田の保全には、その地形的な条件不利性等から多大なコストを要するのが実情であり、農業の担い手の減少、高齢化の進展もあいまって、**棚田が荒廃の危機に直面**している地域もあります。
- このため、棚田地域振興法（令和元年8月施行）に基づき、**棚田地域の振興のための支援**を実施しています。



① 栗野町：幸田の棚田ほか
(令和2年5月20日指定)



② 串木野町：おごっ段の華の棚田ほか
(令和2年5月20日指定)



③ 市来町：舟川前
(令和2年6月16日指定)



④ 今和泉村：新永吉の棚田
(令和3年6月21日指定)



⑤ 利永村：尾下の棚田
(令和3年6月21日指定)



【指定棚田地域は（ ）書きの昭和25年2月1日における市町村区域】

奄美群島などの温暖な気候を活かして生産される農畜産物

○ 奄美大島、喜界島、徳雄島、沖永良部島、与論島などでは、温暖な気候を活かして、各島でいろいろな農畜産物が生産されています。



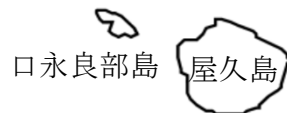
肉用牛子牛



たんかん

屋久島・口永良部島

- ・茶
- ・たんかん、ぽんかん
- ・肉用牛、豚



口永良部島

屋久島

種子島

- ・さとうきび、茶、葉たばこ
- ・かんしょ、ばれいしょ、スナップえんどう、ブロッコリー
- ・早期水稻
- ・肉用牛、生乳、豚
- ・レザーリーフファン
- ・フリージア（球根）



種子島



安納いも

奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島

- ・肉用牛、鶏卵
- ・さとうきび
- ・たんかん、マンゴー、パッションフルーツ



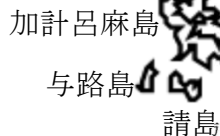
パッションフルーツ



ばれいしょ

徳之島

- ・肉用牛
- ・さとうきび
- ・ばれいしょ
- ・マンゴー、たんかん



徳之島

奄美大島

請島

与路島

加計呂麻島



さとうきび



喜界島

喜界島

- ・さとうきび
- ・肉用牛
- ・ごま
- ・トマト、かぼちゃ、ブロッコリー
- ・マンゴー



乾燥中のごま

沖永良部島



沖永良部島

- ・ユリ、キク、ソリダゴ、グラジオラス、ユリ（球根）
- ・さとうきび、葉たばこ
- ・肉用牛
- ・ばれいしょ、さといも
- ・マンゴー



テッポウユリ



マンゴー

与論島

- ・肉用牛
- ・さとうきび
- ・さといも、いんげん
- ・ソリダゴ



与論島

野生鳥獣による農作物への被害及び捕獲頭数から見たジビエ利用状況

【鳥獣被害状況】

○ 令和3年度の鹿児島県内における野生鳥獣による農作物の被害額は約3億円で、そのうち約7割がニホンジカとイノシシの被害で2.2億円程度です。

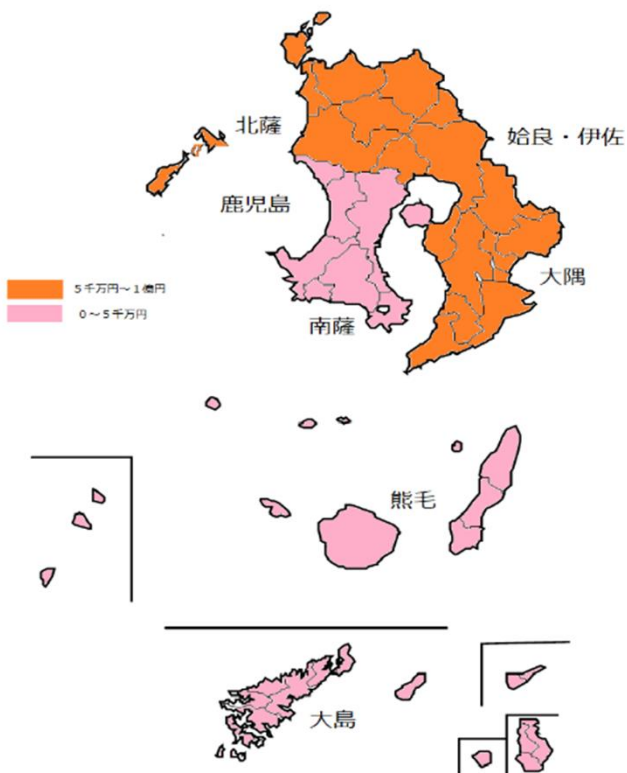
【ジビエ利用状況】

○ 令和3年度、鹿児島県内の食肉処理施設で解体されたシカは捕獲頭数の7.5%(1,974頭)、イノシシは捕獲頭数の1.7%(447頭)と全国と比べてもジビエ利用が少ない状況。解体されたジビエ肉は精肉・加工品として販売されており、ふるさと納税の返礼品にも活用されています。

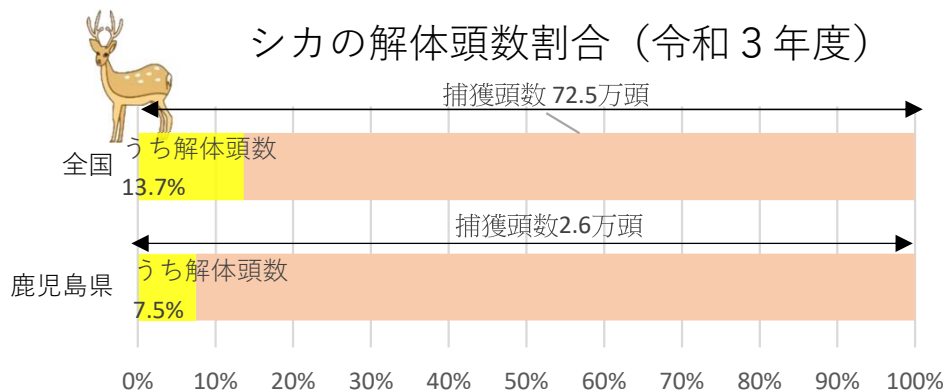
鹿児島県の野生鳥獣による農作物被害額

(単位：百万円)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
被害額	387	376	526	397	333
ニホンジカ	95	85	86	64	48
イノシシ	178	177	228	195	171



シカの解体頭数割合（令和3年度）

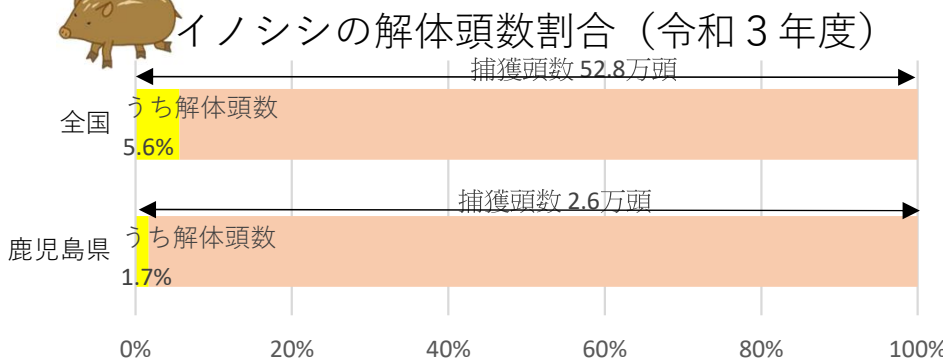


ジビエ加工品



＜屋久鹿ジャーキー＞

イノシシの解体頭数割合（令和3年度）



＜鹿肉大和煮＞

鹿児島県内のジビエを食べよう



令和5年6月
九州農政局鹿児島県拠点

出典：「鳥獣被害防止対策推進会議資料」（鹿児島県）
「捕獲数及び被害等の状況等」（環境省）
「野生鳥獣資源利用実態調査」（農林水産省）

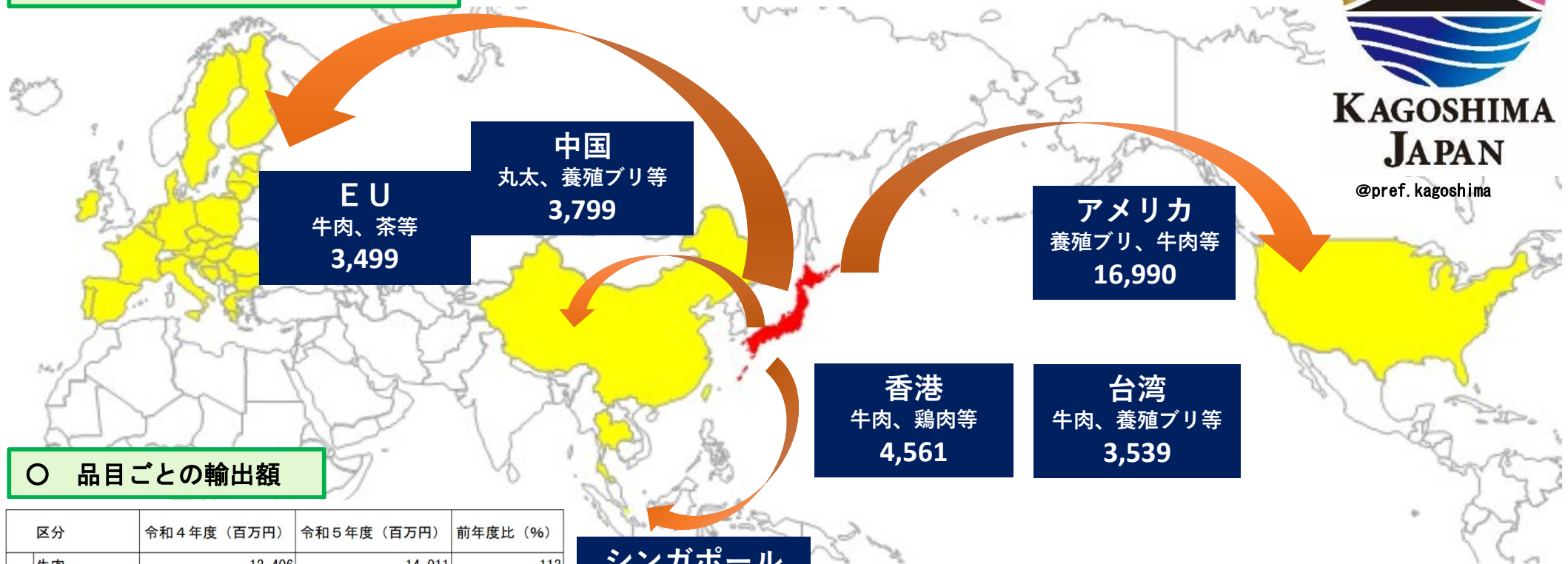
九州農政局鹿児島県拠点のホームページで紹介

広報誌「鹿児島県内のジビエを食べよう」 <https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/index.html>

鹿児島から海外へ（輸出による儲かる農業の実践）

○ 輸出先国、地域ごとの輸出額

単位：百万円



○ 品目ごとの輸出額

区分		令和４年度（百万円）	令和５年度（百万円）	前年度比（％）
畜産	牛肉	12,406	14,011	113
	豚肉	314	189	60
	鶏肉	269	274	102
	鶏卵	427	130	30
	小計	13,416	14,604	109
農産	お茶	1,336	3,257	244
	さつまいも	773	894	116
	その他	201	208	103
	小計	2,309	4,359	189
林	丸太など	3,382	3,673	109
水産	養殖ブリ	11,186	11,916	107
	養殖カンパチ	390	399	102
	その他	2,063	1,719	83
	小計	13,638	14,034	103
	合計	32,745	36,669	112

シンガポール
牛肉、さつまいも等
1,359



牛肉



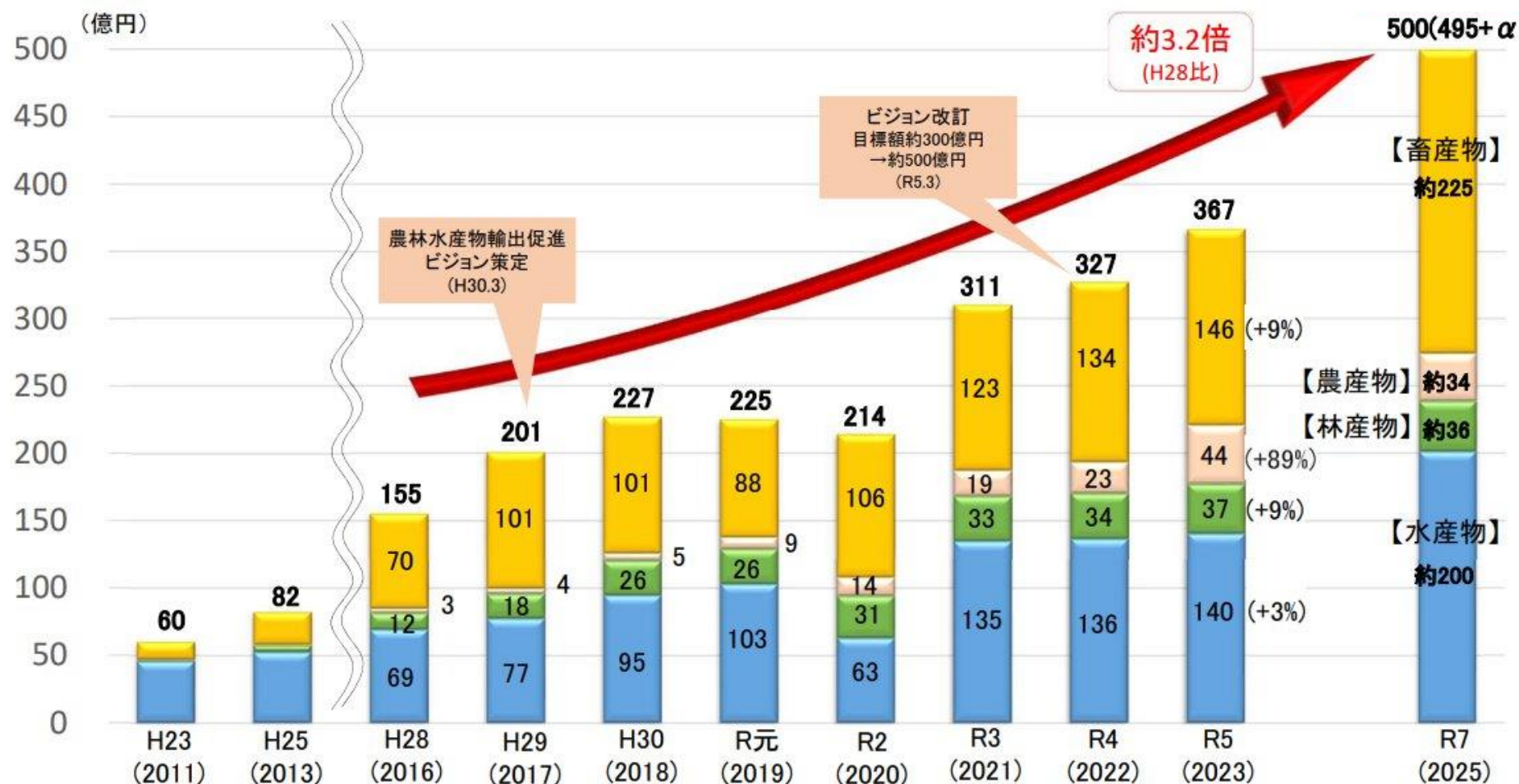
ブリ



丸太

(参考) 鹿児島県産農林水産物の輸出額

○令和5年度の県産農林水産物の輸出額は、前年度比12%増の約367億円
 ○前年度に引き続き、農・畜・林・水産物全ての輸出額が増加し、公表開始以降最高額を更新



資料：鹿児島県HPより

〈品目別輸出額〉

- ・水産物：米国、台湾、中国、向けの養殖ブリなど 約140億円
- ・畜産物：米国、香港、EU、台湾向けの牛肉など 約146億円
- ・林産物：中国向けの丸太など 約37億円
- ・農産物：米国、EU向けの抹茶やアジア向けのさつまいもなど 約44億円

輸出するならGFP！

- GFPとは、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクトです。
- 農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「GFPコミュニティサイト」を立ち上げ、当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省が「輸出の可能性」を診断することにより、サポートを実施します。
- 令和6年10月1日現在の、全国登録数は9,718件、うち**鹿児島県は334件**です。



1億人ではなく、
100億人を見据えた
農林水産業へ。

農林漁業者・食品事業者へのサービス

- 輸出診断が無料
- 輸出商社の「商品リクエスト情報」を共有
- 輸出希望商品を輸出商社に紹介
※輸出手続きを自ら行わずに速やかに輸出することも可能
- 輸出のための産地づくりを計画策定から支援
- メンバー同士の交流イベントへの参加

輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス

- 生産者・製造業者が作成する「商品シート」を共有
- 「商品リクエスト」を全国の生産者・製造業者へ発信可能
- メンバー同士の交流イベントへの参加



霧島市福山町の黒酢壺畑



霧島市の有機抹茶



指宿市の春キャベツ

登録
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を。

WEB : <http://www.gfp1.maff.go.jp>

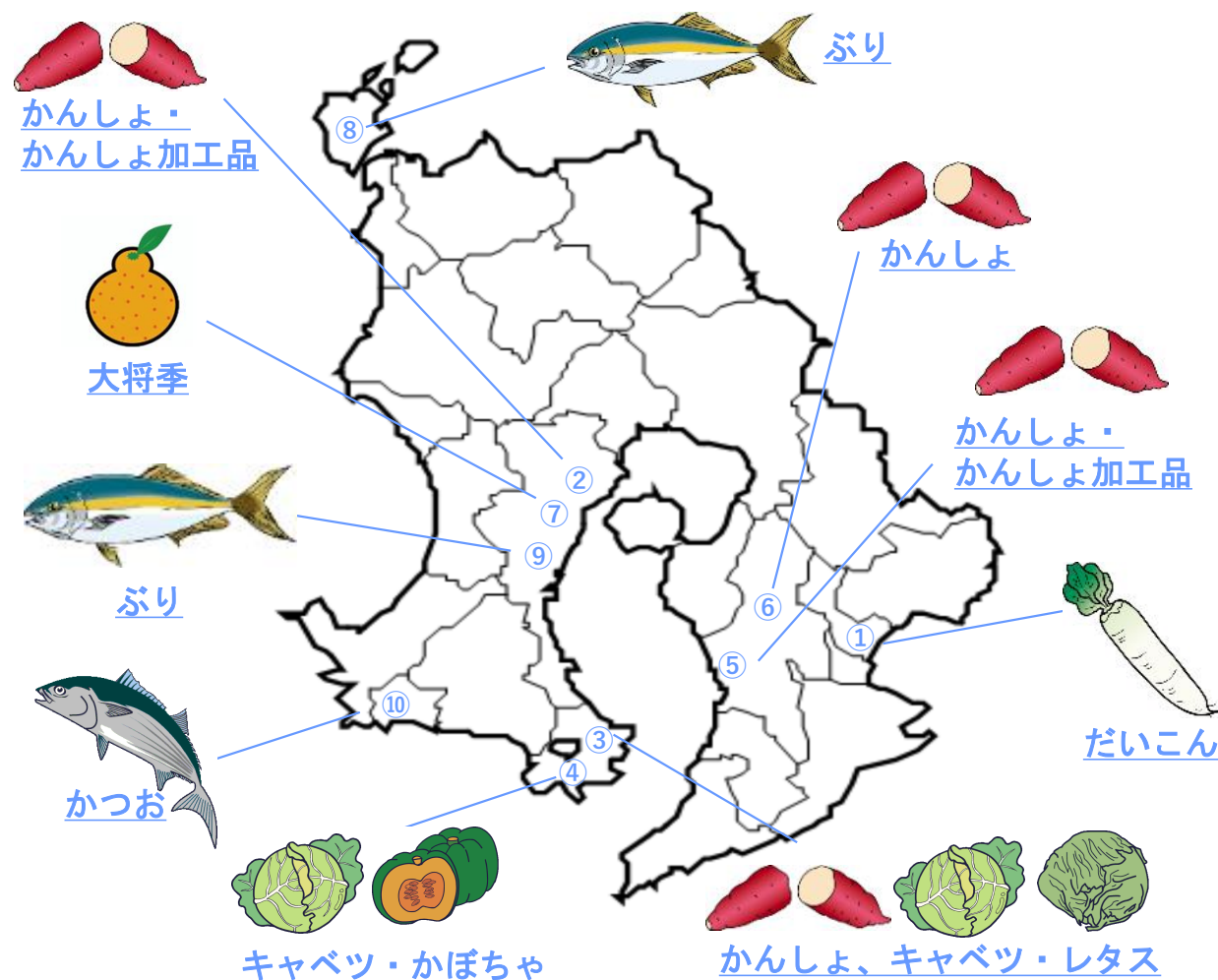
問い合わせ先：農林水産省 GFP事務局 Mail : gfp@maff.go.jp



G F P グローバル産地づくり推進事業・採択産地

- 農林水産物・食品の輸出を更に拡大していくためには、輸出先国・地域との協議により輸出可能な国や農林水産物・食品の幅を広げるとともに輸出先国の規制等に適合した農林水産物・食品の生産を拡大していくことが必要です。
- 平成30年8月31日、国はG F P（農林水産物・食品輸出プロジェクト）を立ち上げ、意欲ある農林漁業者・食品製造業者等に対する輸出診断や、グローバル産地の形成支援を実施しています。
- 具体的には、有機などの海外市場のニーズ、需要に応じたロットの確保、輸出先国の求める農薬規制・衛生管理などに対応した生産・加工体制を構築する等の取組について、事業を創設し支援しています。
- 令和5年7月現在グローバル産地は、全国で94産地、うち鹿児島県は10産地です。

令和5年度GFPグローバル産地（鹿児島県関係）		
	産 地	品 目
①	(有)大崎農園	だいこん
②	(有)かごしま有機生産組合	かんしょ・かんしょ加工品
③	(株)指宿やさいの王国	かんしょ・キャベツ・レタス
④	(株)大吉農園	キャベツ・カボチャ
⑤	(有)南橋商事	かんしょ・かんしょ加工品
⑥	Japan potato有限会社	かんしょ
⑦	鹿児島県経済農業協同組合連合会	大将季（だいまさき）（柑橘）
⑧	東町漁協協同組合	ぶり
⑨	鹿児島県漁業協同組合連合会	養殖ぶり類
⑩	枕崎水産加工業協同組合	かつお類



フラッグシップ輸出産地の認定

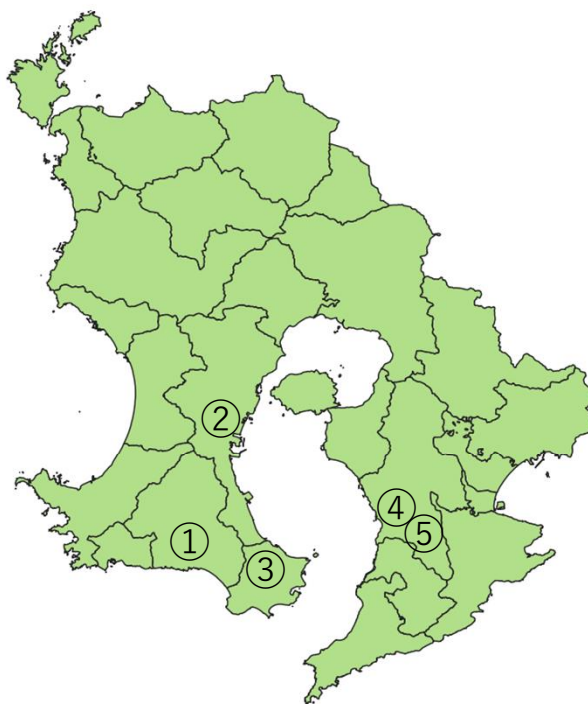
- 農林水産省では、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地を「フラッグシップ輸出産地」として認定しています。
- 令和6年7月現在、全国で42産地が認定を受け、内訳は、畜産物10、青果物22、花き2、茶6、米2産地となっています。
そのうち鹿児島県における認定数は、畜産物3産地、青果物2産地となっています。
- 今後、SNS等を通じて、各産地の取組をご紹介します。



輸出用牛肉カット風景



輸出先国での販売風景（かんしょ）

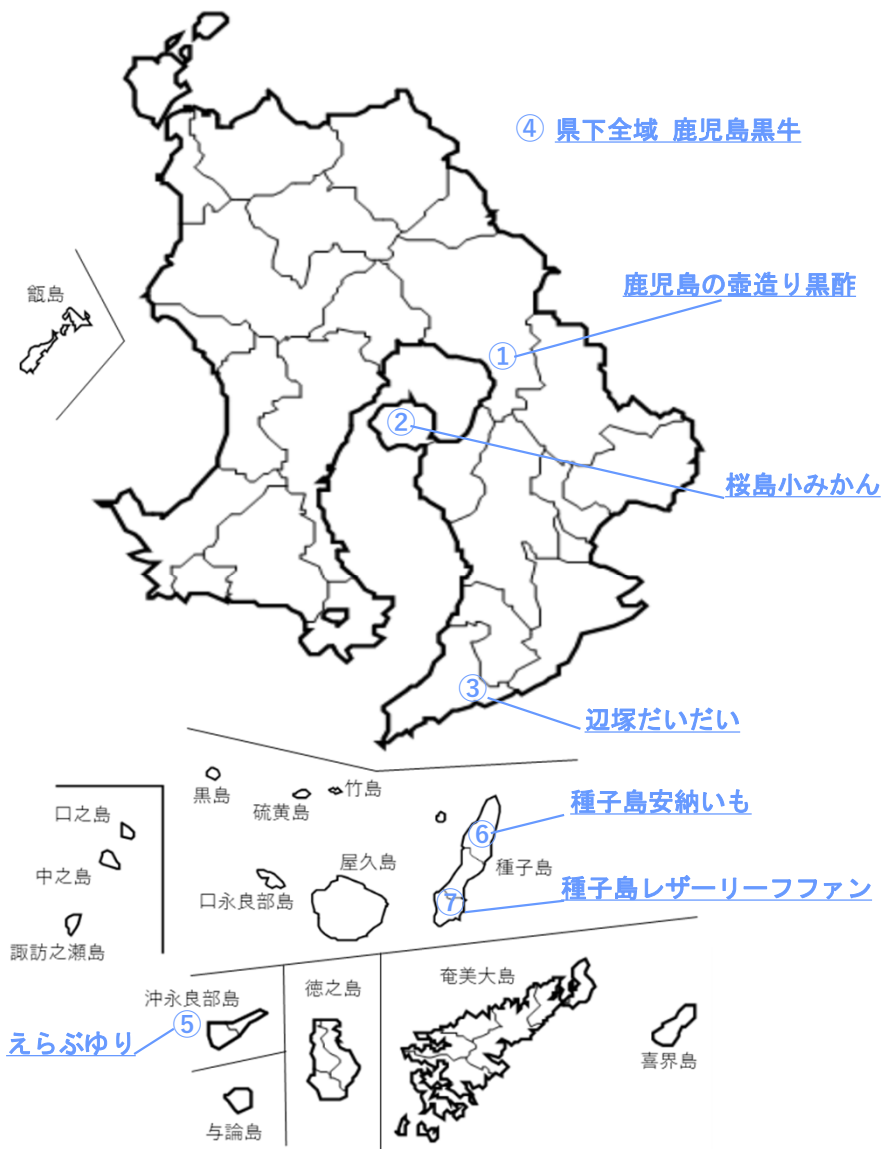


鹿児島県（5件）			
	品目	選定産地	対象地域
①	牛肉	JA食肉かごしま輸出 コンソーシアム	南九州市・指宿市・南さつま市・日置市・枕崎市・いちき串木野市・鹿児島市・薩摩川内市・出水市・阿久根市・長島町・さつま町・伊佐市・姶良市・霧島市・湧水町・曾於市・鹿屋市・垂水市・錦江町・肝付町・東串良町・南大隅町・志布志市・大崎町・西之表市・屋久島町・徳之島町
②	牛肉	カミチク食肉輸出 コンソーシアム	鹿児島市・南さつま市・日置市・霧島市・鹿屋市・いちき串木野市・枕崎市・薩摩川内市・さつま町・阿久根市・出水市・指宿市
③	牛肉	スターゼンミート コンソーシアム	指宿市・鹿児島市・姶良市・南九州市・南さつま町・宮崎県小林市・宮崎県えびの市
④	かんしょ	Japan potato(有)	鹿屋市・千葉県成田市・茨城県鉾田市
⑤	かんしょ	(有)南橋商事	鹿屋市・錦江町・曾於市・志布志市・宮崎県串間市

GIに登録して取引の拡大を目指す

このマーク
が目印

- **GI (Geographical Indication)** とは地理的表示の略称であり、地域の特産品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し、保護することにより、「取引の拡大」「価格の上昇」等の効果に期待。
- GIに登録されたことで「海外における模倣品の排除」「マスコミに取り上げられ商談の機会が増えた」「生産者の意識が高まり品質が向上した」といったアンケート結果が得られた。



< 鹿児島県内の登録及び公示一覧 >

①



鹿児島の壺造り黒酢（霧島市福山町・隼人町）
鹿児島県天然つぼくり米酢協議会

②



桜島小みかん（鹿児島市桜島地区）
鹿児島みらい農業協同組合

③



辺塚だいたい（肝付町・南大隅町）
鹿児島きもつき農業協同組合

④



鹿児島黒牛（鹿児島県内）
鹿児島県肉用牛振興協議会

⑤



えらぶゆり（和泊町・知名町）
沖永良部花き専門農協、あまみ農協

⑥



種子島安納いも（鹿児島県種子島地区）
（社）安納いもブランド推進本部

⑦



種子島レザーリーフファン（鹿児島県熊毛郡）
種子屋久農業協同組合（登録申請の事実の公示中）

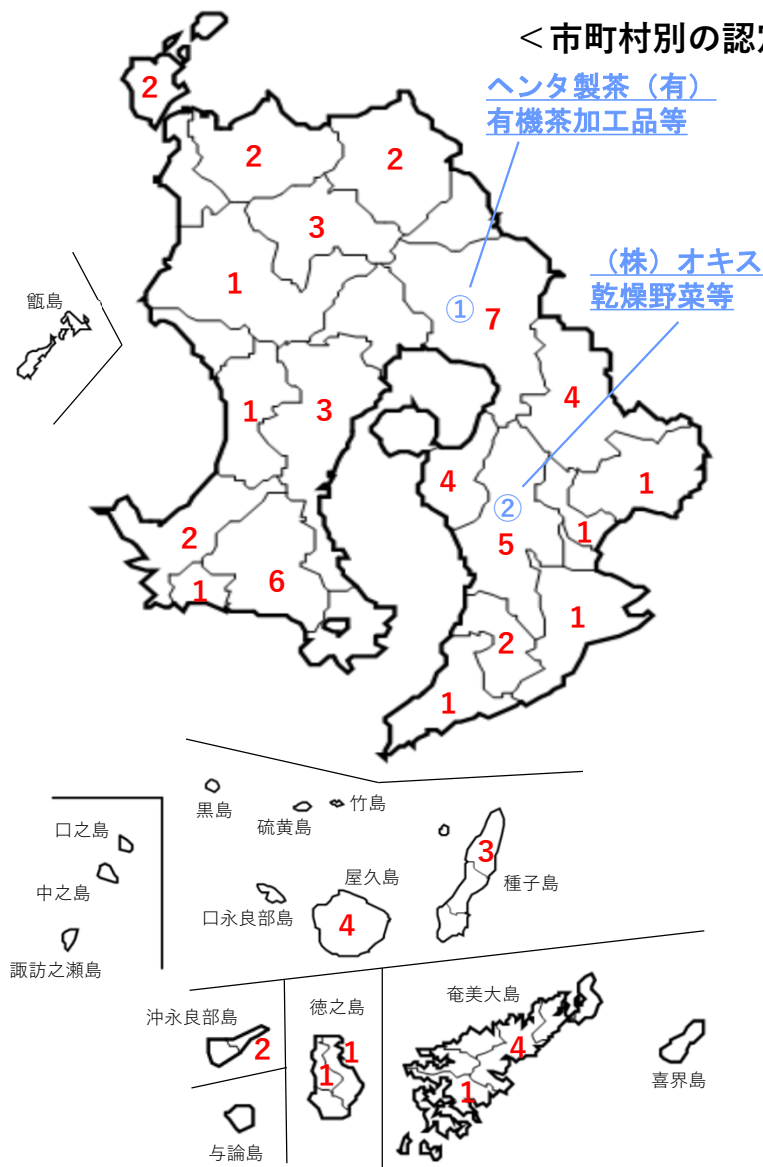
※令和5年7月20日現在の鹿児島県の状況：登録商品は6商品（全国では132商品）
登録申請の事実の公示中は1商品

6次産業化にチャレンジしている農林漁業者

- 農林漁業の6次産業化とは、**農林漁業者（1次産業）**と、2次産業（工業・製造業）・3次産業（販売業・サービス業）との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した**新たな付加価値を生み出す取組**です。
- 鹿児島県内では、6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定事業者数が、**65件**あります。

＜市町村別の認定事業者件数＞

（令和5年3月31日現在）



地域	市町村	総合化 事業計画 認定数	うち		
			農畜産	林産	水産
鹿児島	鹿児島市	3	3		
	日置市	1	1		
南薩	枕崎市	1	1		
	南さつま市	2	2		
南九州市	南九州市	6	6		
	出水市	2	2		
薩摩川内市	薩摩川内市	1	1		
	さつま町	3	3		
長島町	長島町	2	1		1
	霧島市	7	7		
伊佐市	伊佐市	2	2		
	鹿屋市	5	5		
垂水市	垂水市	4			4
	曾於市	4	4		
志布志市	志布志市	1	1		
	錦江町	2	1		1
南大隅町	南大隅町	1	1		
	肝付町	1	1		
大崎町	大崎町	1	1		
	西之表市	3	2		1
屋久島町	屋久島町	4	3		1
	奄美市	4	2		2
瀬戸内町	瀬戸内町	1			1
	徳之島町	1	1		
天城町	天城町	1	1		
	和泊町	2		2	
県計		65	52	2	11

＜優良事例＞

① ヘンタ製茶有限会社

＜取組内容＞

有機栽培の茶葉を活用した抹茶等の製造・販売と輸出。

＜今後の展望＞

- ・鹿児島県全体の発展に向け、他の事業者と連携を図り、「霧島茶」と鹿児島県の特産品をコラボした新商品を開発し、国内販売及び海外輸出。
- ・輸出先国の求める農業規制・衛生管理などに対応した生産・加工体制を構築し、世界の人口増加や各国の経済発展等により、グローバルな市場の獲得。

② 株式会社オキス

＜取組内容＞

大隅半島で生産する農産物「薩摩の恵」を用いて、乾燥野菜や雑穀加工品等の製造・販売と輸出。

＜今後の展望＞

- ・新たに操業した殺菌パウダー工場で、自社原料の殺菌加工や地域農家から加工受託。
- ・冷凍野菜の加工製造を行う株式会社オオスミフレッシュファクトリーでIQF設備を導入し、市場の様々なニーズに対応。

※IQF・・・食材各々をバラ化凍結する技術

資料：6次産業化の取組事例集（令和3年3月）

スマート農業・農業DXの推進

- 人口減少、担い手の高齢化・減少が深刻化する中、農業の生産現場は多くの課題を抱えています。現場の課題を解決するため、デジタル技術やデータを活用したスマート農業・農業DXを推進する必要があります。

ドローンによる防除



無人自動運転散布車両による防除



KSASを活用した
ビレットプランタ植付



ドローンによる遮光剤塗布



ドローンによる防除・施肥



衛星データを用いた可変施肥に
よる単収増、AI予測機能を活用
した作業計画の円滑化



【スマート農業推進鹿児島WEB協議会】

鹿児島県拠点では、スマート農業・農業支援サービスの取組を推進するため、九州農政局鹿児島県拠点のホームページ上にWEB協議会を常設し、会員から随時情報収集し提供しています。

「スマート農業推進鹿児島WEB協議会」についてはコチラから⇒



資料に関するお問い合わせ先

農林水産省九州農政局鹿児島県拠点
地方参事官室

〒892-0816
鹿児島市山下町13番21号 鹿児島合同庁舎4階
TEL: 099-222-5840(代表)